

○第2回吉田地区小学校統合準備協議会協議概要

令和2年10月19日（月）19:00～20:19

吉田中学校 体育館

出席者 教育長・教育部長・教育総務課長・学校教育課長・
生涯学習課長・教育総務課課長補佐・施設係長・総務係
長
統合準備協議会委員34名（10名欠席）

1. 教育長あいさつ

今後、新しい吉田統合小学校の設計を委託する業者を決め、発注するということになるが、設計の内容について説明させていただきたい。

2. 吉田地区統合小学校等整備に係る設計業務内容について

(1) 配置・運用（案）

資料をもとに、小学校施設と中学校施設を現行中学校グラウンドの南側に、小学校と中学校を段階的に整備し、それぞれ建築工事の際に敷地を掘り下げて、埋め戻した後に道路敷まで嵩上げされること、車両の進入路確保等のため、川側と吉校グラウンド側の一部の道路を拡幅すること、正門・通用門は車両入口とは別に整備すること、将来的に現行中学校校舎・体育館を解体した後に敷地を掘り下げてグラウンドとして使用する考えてあることを説明する。

(2) 設計概要

資料をもとに、校舎は浸水対策として、道路敷まで嵩上げ・高床で整備し、屋上への垂直避難も可能とし、備蓄室を整備すること、少人数教室や地域連携室を整備すること、身障者用トイレ・シャワー室・エレベーター整備など障害者等にも配慮すること、教室や廊下等は木質化を図り、小中学校連携を想定した整備とすることを説明する。

(3) 施設概要

資料をもとに、各施設の構造や規模について説明し、さらに、基本設計では小中学校校舎・小学校プール・屋内運動場の関連する施設全てについて実施し、実施設計では小学校校舎とプールのみとし、中学校校舎と屋内運動場はまだ先の整備のため、今後実施設計する旨を説明する。

(4) 吉田統合小学校 計画所要室

資料をもとに、同規模である鶴島小学校の各諸室と比較し、必要な教室の漏れがないかどうか、今回追加する教室等が分かるようにして説明する。

鶴島小と異なるのは、特別支援学級6教室・多目的ホール・地域連携室・備蓄室、設備としてはエレベーター・身障者用トイレ・シャワー室が挙げられる旨を説明する。

<質疑>

Q 将来的に中学校校舎と体育館がある敷地は掘り下げるとのことだが、浸水も懸念され、少しでも高いほうが良いような感じがするが。

A 土手からの越水の際には、現行の運動場部分は多少なりとも水を受けとめるような機能があり、運動場を嵩上げをすると、その部分の水が近隣等いろいろな方向に行く可能性もあるという考えで、将来的には現行中学校校舎敷地を掘り下げること、同程度の広さの運動場がゆっくり年数をかけて移動させるという考えで検討して決まった次第である。

Q 道路敷と同じ高さの所に建物が建つということか。

A 校舎建築時に敷地を掘って埋め戻す際に、道路敷の高さまで埋めて建てることとしている。

Q 小学校プールは小学校施設スペースに造るのか。

A 配置については設計業者からの提案を受ける予定である。

Q 中学校プールはそのままか。

A まだ使えると判断しており、整備に関しては当分見送る。

Q 小学校プールも高さを確保できないか。

A どの程度になるか分からないが、ある程度の高さは確保したいと考えている。

Q 学童保育施設についてはどう考えているか。

A 多目的ホール(300㎡程度)の使用を考えている。

Q 授業と学童の時間が重複するため、多目的ホールでの学童保育は考えられない。また、学校内のどこにも行けるような場所に学童保育施設を設置することが学校管理上可能なのか。

A 多目的ホールに至る部分には制限区域を設けて、学校とは別に行ける形を想定している。

Q 学童保育施設を別に設けることは考えられないのか。

A 当初の想定としては、多目的ホールの活用というのが根底にあった。

Q できれば学童保育施設は校舎と別に造ってほしいが、不可能であれば校舎内に別枠で造ってほしい。また、現在吉田小では低学年と高学年で教室を分けており、多目的ホール1つの枠内で学童保育をすることは不可能と思うので見直しが必要と思う。

A 面積の制限もあるので、多目的ホールを300㎡程度想定しているの、この部分を活用してはどうかと考えている。

Q 管理上も含めて、そういう運用は可能なのか。

A 学童保育の利用状況等、詳細には説明できないので、調査したうえで回答したい。

- Q それでは学童保育の課題については今日は決めないということか。
- A 多目的ホールでの学童保育の考えは事実だが、福祉部門との議論が少し足りないと思うので、校舎内に学童専用スペースを作るのかについては、この場で結論には至らないように考える。ただ、アイデアとしては所要室の中に明確に上がってないが、運用や工夫の部分でできる可能性はあるようにも考えるため、福祉部門との意見交換、受入側の学校の先生の意見、もう一つは設計業者を今後決めていく中で、基本的にこういう所要室は要するところを示しているの、ここから大きく変わることはない一方で、基本設計から詳細設計に移る中で、設計業者のアイデアも聞きたいと考えているところである。
- Q 最終的に同意を得て設計に入っていくという会なので、福祉の担当者と十分に話し合っ、今日を迎えないといけないと思う。
- A 福祉部とは担当者レベルで打ち合わせはしており、学校側からも運用の管理区域、動線面の心配があったので、それらを踏まえての発言であったこと理解いただきたい。
- Q 学童保育のスペースもこの中に加えるように強く要請したい。
- A 今後検討していきたいと思う。
- Q 中学校施設建築時に、小学校の授業の妨げにならないよう、小学校校舎の北側（新中学校側）は防音設備とすべきと考えるが考慮しているのか。
- A 建築部局と協議する中で、防音に十分注意するよう要請していきたい。
- Q 防音設備の文言が入ってなく、できなくなると困るので、小学校校舎の北側には防音設備を入れるという文言を入れていただきたい。
- A 建築担当と相談し、対応できるような形で文言を入れるかどうかという部分を要請していきたい。
- Q 入口については道が狭く、スクールバスが入ってくると、子ども、自転車も通るので、交通渋滞を心配するが、それに対する配慮や対策はあるのか。
- A スクールバスの出入りについては、危険のないよう、運動場側に道路を拡幅し、子どもと自転車、車、スクールバスの導線を分けて対策をとりたいと考えている。
- Q 将来的には小中学校連携の計画があるが、将来的とはいつ頃を想定しているのか。
- A 現時点では、はっきりしていないというのが実情である。ただし、小中同じ敷地に造るので、どう連携させるのが望ましいかについては研究し、皆様とも意思疎通を図りながら決定していきたいと思う。
- Q 配置図を見ると小中一貫校的な運営になるのではと心配しているが、小中一貫校の方向が理想なのか。
- A 一貫か連携かも含めて、現時点で具体的なものはなく、全国の様々な先行事例やICTを活用した学校運営もふまえて検討したい。

- Q 小学校と中学校で、ある程度独立性があるほうが、子どもの自主性やリーダーシップにつながると思うが、小中学校を同じ敷地内に渡り廊下で接続する構造がいいのか疑問に思う。
- A 様々な考え方、価値感があることは理解しているが、先行事例として、うまくいっているところもあり、そういうところも検討材料にして、最終的に連携か一貫か、それとも、そういうことをしないかを決定したいと思う。これまでの議論を説明すると、小・中学校連携が良いのではないかという方向性で申し上げてきた。
- Q 今回の学校建設は、今から4、50年先を見通すと最後の工事と思うので、一番良い方法、理想を追求して建築し、学校経営をしてもらいたい。今さら取り返しがつかないかもしれないが、これがベストなのか。同じ敷地で運動場を小中学校が共用し、互いが譲り合うことで、子どもたちが伸び伸びと運動できないのではないかという気がする。
- A 意見として承る部分はあるが、昨年から各5地区を、PTA、小学校、地区も含めて説明、協議させていただき、現在に至っているという経緯、経過があるので、その点は理解いただきたいと考えている。
- Q 統合により利用する車の量が増え、スクールバスもあり、徒歩・自転車通学の児童生徒もいるというところで、道路拡幅はありがたいが、河内川の橋もできれば片側1車線の拡幅ができないか検討いただきたい。
- A 専門部署に提案したいと思う。
- Q 屋内運動場も小中共用になっているが、体育館を小中共用にしていた学校は小学生が肩身の狭い思いをしていたので、体育館を小学校用、中学校用にしてほしいと思う。
- また、小学校と中学校を別々に造るのが本当の姿と思うが、やむを得ないのであれば、校舎を隣接せず、今の給食調理場の辺りに中学校校舎ということはできないか。小中連携ということだが、隣接でなくても同じ敷地内であれば離れていてもネットで連携がとれると思う。屋内運動場の小中併用をやめ、できたら中学校校舎を別のところに建ててもらいたいと思う。
- A 今までも各5地区で小中連携についても説明してきた部分で、中学校の英語の先生等が小学校に行き来できるような形なので、校舎と校舎に関してはより近いほうがいいのだろうという部分で設定している。今の段階では、少し困難な部分があるかと考えているので理解いただきたいと思う。
- 学童の部分に関して以外は、概ね理解いただけるような回答と考えているがその点よろしいか。
- 特に学童に関しては、この後、実際に業者に設計をデザインしてもらった段階に進むわけだが、そのプロセスの中で提案いただいた中身については、担当部局とも検討した上で進めていきたいと思う。
- Q 今の答えでは、再度検討して、もう1回皆に承諾をいただく会をもつということか、それとも、教育委員会内で判断して決めるというか。

- A 多目的ホールやいろいろな部分を調整して、多少増やすということは今後できると考えているが、別に放課後児童クラブのエリアをとるとするのは、なかなかこの場では即答ができないと考えている。
- A 学童エリアを、例えば資料3 ページ目の緑色がついているところに1行入れるかどうかというところで、今日の話が分かれるのではなく、たちまち今日は案としてはこれで、もしお許しいただけるならお許しいただき、その上で、学童をどこにするのか。今こちらでは多目的ホールで考えているが、福祉部門と詰めた話ができてなかったのも事実なので、福祉部門と協議、学校の先生方の意見を聞いた上で、設計会社が今後決まった時には、運用の部分も含めて要望を伝え、多目的ホールでできないのか、他のところでできるのかできないのか、今示している4,830㎡にだわってるわけではなく、その中で収まらない、でも学童はしなければいけないとなれば、別棟を考えざるを得ないと思う。今日、必ず何㎡をここに造ると言える段階でもなく、今日いただいた提案、意見については要素として残させていただくということで、了解をいただけたらと考えている。
- 今ほどの説明のとおり、今後の部分、進捗により調整できる部分とできない部分もあるかもしれないが、そのような方向で進めていきたいと考えているがよろしいか。
- Q 今回の議題に直接関係ないことで、県の方針であるが、中高一貫校のことだが、宇和島のように過疎化が進み小学校も中学校も生徒がおらず困っている時に、中高一貫校の宇和島南中にリーダー的生徒が集まるのが宇和島の中高の教育にとっていいのかどうか、教育委員会で一度検討して考えていただきたいと思う。
- A 認識は持っており、高校再編の検討も県のほうで始まるようなので、何らかの形で検討したいと思う。認識としては共有している。
- 今後の協議の中で、できるかどうかという部分も検討していきたい旨説明
＜特に意見なし＞
- Q 今日の会議を終えてこれから入札・設計に入っていくと思うが、プロポーザルで業者選定すると聞いているが、今日、皆の同意が得られるのであれば、できたら地元にならぬに精通した地元の代表をプロポーザルの審査員にぜひ入れていただけないか。
- 審査員の業務等を説明し、審査員に地元代表を入れることへの賛否を問う。
＜賛成17名、反対5名 審査員に地元代表を入れることへ同意される。＞
- Q 人選は学校運営協議会の会長6人で話し合っただけならばと思う。人数についても協議していただいて。
- 出席の学校運営協議会長に人選依頼についての可否を問う。
＜出席の学校運営協議会長4名全員了承＞
- 他に意見はないか問う。
＜特に意見なし＞

3. その他

(1) 現行中学校敷地隅の記念碑及びグラウンド川側の樹木について

統合小学校整備にあたり記念碑を移設する必要があるため、記念碑について出席者に情報提供求めるも、皆、知らない様子であった。

事務局としては記念碑については移設すると崩れそうのため、残すとすれば写真に残して、撤去するしかないと考えている旨説明する。

グラウンド川側は拡幅工事のため樹木を撤去するため、記念樹等切ってはいけない木があれば教えてほしい旨説明する。

(2) 第1回教育検討部会の日程調整

11月6日(金)に都合悪い方が1名と最も少ないため、この日で調整し、決定次第文書にて案内する旨説明する。

4. 閉会あいさつ (教育部長)

20:19 協議会終了